



# 恭賀新年



発行所  
明野駐屯地  
広報班



三航会  
会長  
玉野 雅久



度会町自衛隊協力会  
会長  
濱岡 裕之



駐屯地最先任上級曹長  
准陸尉  
三戸 健次



陸上自衛隊航空学校長  
兼ねて明野駐屯地司令  
陸将補  
廣瀬 敏彦

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。現在、我が国が直面する安全保障環境は過去に例を見ない深刻さを呈していると言っても過言ではありません。国内においては、防衛力の変革に係る各種検討が一層加速する見通しであり、また、南海トラフ地震のような国民の生活を大きく棄損する大規模地震は、今この瞬間に起きてもおかしくありません。これらの脅威、変化等に的確に対応すべく、航空学校・明野駐屯地は、時代の動向をしっかりと見据え、これまで以上に強靱な陸上航空・駐屯地を創造してまいります。

平素からの皆様のご理解、ご協力に改めて感謝を申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます。昨年3月に駐屯地最先任上級曹長に上番しました三戸准尉です。皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、明野駐屯地に対するご理解、ご支援、ご協力、また温かいお言葉を賜り心より感謝申し上げます。

今年も引き続き不安定な国際情勢が続くことが予想され、それに関連し様々な分野で大きな変化がもたらされる1年となることでしょう。そのような中、我々准曹士は変わらない本質を守りつつ変化に対応し、常に自ら考え行動できるよう任務、教育訓練に励んでまいります。

本年も引き続き変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって良い年となることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。皆様方には清らかに佳き新年をお迎えになられた事と心よりお慶び申し上げます。

今、世界では紛争、気候変動の加速、ベネズエラ政変など国際秩序が歪むなか、中国内の政情不安から台湾有事に対する懸念は我が国にとりこれまで以上の緊張感があります。国の防衛は充分な抑止力を欠けば大切な国民の生命、財産、領土も守れません。平和を守る自衛隊の存在こそが最大の社会保障です。国難の時代と言われる今、国政は真に国益を守る高市政権となり、国民の期待も大いに高まりました。

日々の厳しい訓練による凜とした姿に敬意と感謝を申し上げます、改めて本年が皆様にとりまして心安らかなる1年となりますよう、ご健勝と弥栄を心より御祈念申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨今の国際情勢はロシアのウクライナ侵略を筆頭に厳しさは増し、またわが国を取り巻く環境も台湾をめぐる中国の活発な活動が表面化し、極めて厳しい状況となっています。

この様な不穏な状態が続く中、近隣国及び日本の平和を守り抜く防衛省自衛隊の役割が重要となっております。

私達支援者は、明野駐屯地並びに航空学校への更なる協力をしていく所存でございます。

結びに今年、隊員皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます新年のご挨拶とさせていただきます。

# 駐屯部隊長 年頭挨拶



飛行実験隊長  
1等陸佐  
藤原 英之



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
昨年、飛行実験隊としては、全国で最初のUHF IIRANを無事終え、一区切りをつけることができました。これまでの関係者方々のご支援、誠にありがとうございました。

昨年、飛行実験隊では、部隊の任務分析もかねて組織理念を整理する意見交換会を実施してきました。また議論は続いておりませんが、皆「航空機の試験等を通じて部隊に貢献すること」は共通の柱として認識にあり、隊長として心強く感じることができました。

「先駆躍進、部隊のために」  
本年もどうぞ、宜しく願います。



第5対戦車  
ヘリコプター隊長  
2等陸佐  
高橋 慎一郎



明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

第5対戦車ヘリコプター隊は長年にわたり地域の防衛の要として任務に精進してまいりましたが、本年3月をもって廃止され、新たに対戦車ヘリコプターを保有する飛行隊として再編されることとなりました。

これまで培ってきた伝統を継承しつつ、新編部隊として引き続き地域の安全保障に貢献していく所存です。

今後とも変わらぬご理解とご指導をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第10飛行隊長  
2等陸佐  
荻原 恵太



明けましておめでとうございます。  
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

第10飛行隊は、今年で創隊64周年を迎えるとともに、無事故飛行継続60年という記録を達成することができました。これもひとえに、皆様のご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今年も「気づき、口にし、実行する」の安全指針のもと、更なる練度向上と信頼の構築に努めてまいります。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、宜しく願います。  
皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



中部方面  
管制気象隊長  
第1派遣隊長  
3等陸佐  
坂谷内 健



謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
管制気象隊の隊務運営に深いご理解とご協力をいただきました。ありがとうございます。

昨年主として明野飛行場における管制気象業務を安定的に運営すべく注力してまいりました。その中で8月には多くのお力添えを賜りまして、長らく中断していたターミナルリーダー管制業務の運用を再開できたことは我々の念願でした。また、山林火災対処のための災害派遣参加や日米共同指揮所演習及び方面総監訓練検閲で期待される役割を果たせたことは、部隊の成長を促すものであったと考えております。ご支援賜りました皆様

に厚く御礼申し上げます。  
令和8年は午年であります。より一層の飛躍と成功の一年になるよう、引き続き積極的な管制気象支援を実施して、陸上航空の任務達成及び航空安全確保に寄与してまいります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



第306基地通信中隊  
明野派遣隊長  
3等陸尉  
前田 拓治



明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

基地通信隊は駐屯地のシステム通信維持部隊としてその任務を遂行できるよう日々業務に邁進しております。

本年は通信所移転、電話交換のUC化、新本部庁舎への部隊引越しの受け入れ等に派遣隊一丸となつて対応し、引き続き良好、良質な回線を皆様に提供できるよう努めていく所存です。

本年も変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



第107全般支援大隊  
整備中隊  
明野派遣隊長  
3等陸尉  
東丸 弘樹



明けましておめでとうございます。  
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は格別のご厚情をいただきありがとうございます。

第107全般支援大隊整備中隊明野派遣隊は、明野駐屯地に常駐する野整備部隊として、積極支援に努めるとともに、整備技能を向上させ部隊の任務達成に寄与できるよう日々精進してまいります。

隊員皆様とご家族のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。  
本年も変わらぬご健康とご多幸を心からお願い申し上げます。

# 午年生まれ 新年の抱負 (平成14年生)



航空学校整備部  
3等陸曹  
堀 颯太

人生ウマくいくよう楽しんでいきます。



5対戦ヘリ隊  
3等陸曹  
田代 慎弥

午の如く、広い視野を持ち、今年も全力で駆け抜けていきます。



航空学校整備部  
3等陸曹  
浦野 泰気

午年の年男として、ウマ娘ならぬウマ男として、馬車馬の如く走り抜ける一年にします。



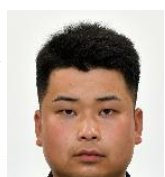
5対戦ヘリ隊  
陸士長  
大井 遥奈

日頃の感謝の気持ちをお忘れず、陸曹を目指して日々精進していきます。



航空学校整備部  
3等陸曹  
福田 竜希

陸曹としての自覚を持ち、知識、技量、人間性の向上に努め、元気いっぱい頑張ります！



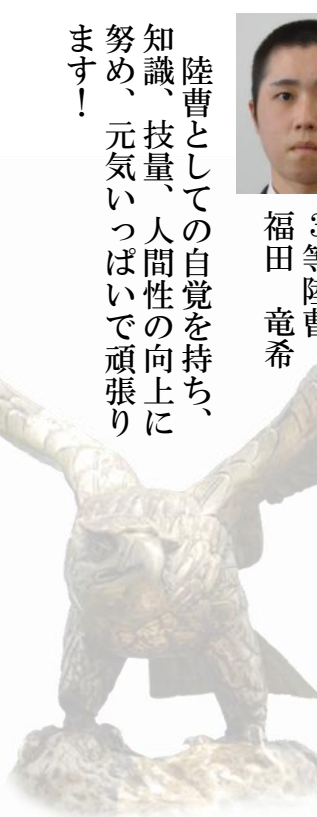
航空学校整備部  
1等陸士  
南 勇太郎

午のように飛躍の年に！業務で新たな知識を習得し、チームに貢献できるように、専門性を高めていきます。



5対戦ヘリ隊  
3等陸曹  
谷口 健太

部隊のサラブレッドになれるよう、日々努力していきます。



## 令和8年 駐屯地年頭行事



鈴木健一市長 祝辞



おばた離宮院太鼓



二十歳隊員による抱負



編隊飛行訓練(航空学校)



手を振って応える航空学校隊員

駐屯地は、令和8年1月7(水)に、年頭の安全行事及び編隊飛行訓練を、9日(金)に、賀詞交歓会及び二十歳祝賀行事を行いました。安全行事では、駐屯地司令以下駐屯各部隊長及び航空学校各部署隊長による、だるまの目入れを行い、目標の達成と今年一年の事故の絶無を誓いました。

編隊飛行訓練では、陸上航空全体の模範としての気概と練度を示す見事な編隊飛行に地上から見守る隊員は手を振って応え、団結の強化と士気の高揚を図るとともに、組織力を発揮した航空安全確保の決意を新たにしました。

賀詞交歓会及び二十歳の祝賀行事では、伊勢市長をはじめ、県・市・町議会議員、各協力会会長及び近隣駐屯地司令等、平素より駐屯地に対するご理解・ご協力をいただいている皆様にご参加いただき、二十歳を迎えた隊員による抱負に対して激励をいただきました。また地域で活動する「おばた離宮院太鼓」による和太鼓演奏も行われ、大盛況で終えることができました。

令和8年の各種年頭行事を通じ、日頃の感謝をお伝えするとともに、皆様の前で更なる精進を誓いました。

# 新 就任協力会会長紹介

(就任期日順)



令和7年11月1日就任  
南勢防衛協会  
会長  
濱田 典保 様  
(はまだ のりやす)



令和7年10月11日就任  
明野OB会  
会長  
矢吹 匡 様  
(やぶき ただし)



令和7年8月2日就任  
三重県自衛隊家族会  
伊勢地区会長  
中村 佳子 様  
(なかむら よしこ)



令和7年5月25日就任  
やまびこ会  
会長  
奥山 憲生 様  
(おくやま のりお)



令和7年4月1日就任  
三重県隊友会  
会長  
桐井 賢一 様  
(きりい けんいち)

# 三笠1佐 着任



令和7年12月1日付で、みかさのぶたか三笠展隆1等陸佐が、航空学校副校長(41代)に着任しました。明野駐屯地での勤務は初めてとなる三笠副校長は紹介行事において「風光明媚なこの地で、皆さんと共に勤務できることを楽しみにしている」と隊員に挨拶しました。



航空学校副学校長  
1等陸佐 三笠 展 隆  
(みかさ のぶたか)

### 【主要部隊歴等】

- 平成6年3月 第2対戦車ヘリコプター隊/八戸
- 16年8月 第8師団司令部/北熊本
- 17年10月 第8次イラク復興支援群/イラク
- 22年6月 外務事務官(インド防衛駐在官)/インド
- 31年3月 自衛隊長野地方協力本部長/長野
- 令和3年9月 東北方面総監部情報部長/仙台
- 5年8月 北部方面航空隊長/丘 珠
- 7年12月 現職

# 岸田将補 退官



岸田佳明陸将補は、令和5年8月1日から2年4ヶ月の間、航空学校副校長として勤務し、この度、約35年の自衛隊での勤務を終え、令和7年12月1日付で陸将補に昇任して同日付で退官しました。

いつも冷静沈着で的確に指示し、穏やかな人柄で隊員からの人望も厚かった岸田OBには、今後ますますのご健勝とご多幸を駐屯地一同心より祈念申し上げます。

### 見送り行事



### 万歳三唱



明野駐屯地開設

7周年

# 航空祭

航空学校創立73周年

地域とともに



行動展示（離島奪回）



来場者に手を振る整備員



祝賀飛行と司令答礼



OH-6D（展示会場に復活）



小俣町奉曳団木遣り



空自F-15J



明野レインボー（70周年Ver飛行）



加藤少将木像  
空自幹候校から  
一時里帰り



へんぱ餅、二軒茶屋餅



明野高校吹奏楽部

令和7年11月22日（土）、明野駐屯地開設70周年、航空学校創立73周年記念行事が行われました。駐屯地開設70周年の節目となった航空祭は、「地元の皆様への最大限の感謝を。これからも地域と共にあり続ける明野駐屯地」をスローガンに掲げ、開催前の広報にもこれまで以上に力を入れるとともに、行事内容も皆で考え作り上げました。

式典行事のオープニングでは、駐屯地所在の各種航空機と輸送航空隊（佐賀駐屯地）のV-22計9機種21機による離陸と祝賀編隊飛行を行い、その後の飛行展示では、53年目となる「明野レインボー」が観客の意表をついて会場後方から登場し、70周年を記念した新演技を披露する等、終始観客の目を釘付けにしました。また、航空自衛隊による飛行展示では、F-2及び記念塗装のF-15Jが時速777キロで上空を通過し、駐屯地開設70周年を祝してくれました。

行動展示では今回、離島奪回に係る行動を初めて披露しました。当初第33普通科連隊の隊員によるドローン偵察、その後のUH-2によるヘリボンやCH-47JAからのエキストラクションロープ降下など、観客の皆さんに陸上自衛隊の能力の一端を見て頂きました。

装備品展示では、令和2年に用途廃止により退役したOH-6Dが限定復活し、現役当時を知る来場者などが操縦席に乘ったり写真を撮ったりと当時と変わらない人気ぶりを見せていました。その他にも、明野高校吹奏楽部の演奏や小俣町奉曳団による木遣り、第10後方支援連隊衛生隊と三重県DMATが協同した野外医療装備の展示、更には改編を控えた第5対戦車ヘリコプター隊によるAH-1S武装展示などの行事やイベントが行われました。

今回の航空祭には約1万5千人の方々にご来場いただき、明野駐屯地の70周年の節目となる一大イベントは大成となりしました。

## 真珠抄

### 『徹底することの難しさ』

部隊では、指揮官がよく、「徹底しろ！」や「徹底したか？」と言われる。しかしながら、現場進出して隊員に確認すると、徹底されていないことが多く、末端の一隊員まで徹底することとは難しいのが現状である。広辞苑によると、徹底とは「底までつらぬきとおること。のこる所なく行きとどくこと。」と記載されている。

『徹底することの難しさ』は、「8×8＝64（はっばろくじゅうし）の法則」だと推察する。例えば、指揮官指導事項を部隊で徹底する時、100%の情報、A隊員が8割しか伝えられず、それを聞いたB隊員は8割しか理解できない。よって、100%の情報は、8割×8割で64%の情報しか伝わっていないという法則である。これが更に次の段階になると、指揮官指導事項の64%の情報を聞いたC隊員は40%になっている。要は、人への伝達力によって、仕事の結果に大きな違いが出ることになる。自分の伝達力がどのくらいのものなのか、今一度考えてみるべきである。

人間は、十人十色と言われ、生育環境、能力、性格等、千差万別である。伝える側の伝達力、説明力等、聞く側の理解力、傾聴力等、これもまた千差万別である。職場では、口頭でかいつまんで要領よく説明する能力が求められる。その能力が高い人は好まれる。日常の会話においても、複雑なことを整理して分かりやすく説明できる人は、「頭が良い」と周りから評価される。その逆に、いい大人になっても要領を得ないことを話し、意図がなかなか伝わらないような話しをしていると、「話し長い人」「冗長な人」という評価を下されてしまう。

では、どうすれば良いかというと、伝達・説明に必要なのは、「①時間感覚、②要約力、③例示力」である。語彙力を増やす、伝える力を培う、相手を惹きつける、分かりやすく伝える、円滑にコミュニケーションする、不適切な言葉・表現は使わない等、会話力と合わせて、伝達の仕方を今一度考えてみてはいかかと思う。

（航空学校第2教育部長 湯浅1佐）

# 部 隊 紹 介

## 第5対戦車ヘリコプター隊

### A A M 射 撃



野外における航空機誘導

### 方面総監検閲



航空機偽装

第5対戦車ヘリコプター隊は、中部方面隊における唯一のヘリコプター火力戦闘部隊であり、対戦車ヘリコプターAHI-1Sをもって対機甲戦闘及び空中機動掩護等の任務を実施するとともに、観測ヘリコプターOH-1をもつて、航空偵察等の任務を実施します。

今年度においても、航空隊訓練、OH-1によるAAM射撃、中部方面総監検閲、各種記念行事支援等に参加し、航空安全の確保に努めるとともに、隊員の旺盛な士気をもって部隊の威容を示すことができました。

また第5対戦車ヘリコプター隊は、今年度末、創隊32年という歴史に幕を閉じ、第112飛行隊(仮称)に改編し、新たな部隊として再始動していきます。

引き続き、変わらぬご支援とご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 中部方面管制気象隊 第1旅 遣 隊



中部方面管制気象隊第1派遣隊は、中部方面航空隊に所属し、明野飛行場における管制気象業務を実施する部隊であり、中部方面隊管内で唯一タミナルレーダー管制業務を担当する部隊です。

航空科部隊の飛行任務の達成及び航空安全に寄与するため、通信・管制・気象の各分野を相互に密接に連携させて任務を遂行しています。

管制隊は航空交通管制業務や情報提供業務を実施し、気象班は的確に気象情報を収集・提供して、航空機の運航を支援しています。

また、通信班は器材等の整備・保守を実施して、飛行場の安定運用を支えています。

強い使命感、責任感及び高度に専門的な技術をもって日々飛行場における業務に臨むとともに、即応性を保持し、災害派遣等各種任務にも積極的に取り組んでいます。

今後も「積極支援」の精神のもと、より信頼される部隊を目指して邁進してまいります。

### 航空管制(管制隊)



野外通信所開設(通信班)



極地気象観測(気象班)

## 栄光の紹介

第107期陸曹候補生課程 最先任上級曹長賞  
第5対戦車ヘリコプター隊 山下士長



「惜しくも方面総監賞は逃しましたが、引き続き部隊に貢献できるように精進します。」

## 定 年 退 官

(退官日順)



令和7年10月15日  
航空学校整備部  
陸曹長  
山本 正和



令和7年11月7日  
第5対戦車ヘリコプター隊  
准陸尉  
坂本 和広

永年の自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。  
お二方のご健勝とご多幸を祈念致します。

